

磐城春秋

第
七
十
號
磐
平
發
城
市
電
影
高
行
春
田
五
印
稻
木
印
刷
社
八
六
二
人
刷
稻
所
水
所
活
版

【錢十四部一價定】

人 民 の 聲 に !!

磐城民主聯盟結成 せる

怖るる何物もなし大衆の支援あり。

既成勢力打倒に果敢な闘争開始

メーデーを機会に結成の氣

運び頭した磐城民主聯盟は
社會・共産兩常磐地區指導者
の完全な合意を見て急速に進展各政黨、文化團体、勞組及び農組等を一丸として結成されることになり日本社會議室に第一回準備會を開き

1、中央の指令に依らず當
地方特有の行き方を探ること
2、廣く各團体、個人に呼
掛け眞の救國戰線を結成する
3、結成準備委員會を十五
日午後六時より公會堂日本間で開催すること
その他の決定したが同聯盟は既成勢力打倒を目標に闘争を開始することになった

湧き上る人民の叫びに應じ

結成された磐城民主聯盟の指

者よ、よくぞ握手をした。然も中央の指令に依らず地

方獨特の色を出ししてゐるこの成否は聯盟の

命令だ。磐城民主聯盟は從業員が經營管理を斷行

して大衆に接して行くと云ふ行方をはつきり示すもので望んで止まない

當時の新構想

平市役所では今般新事態に

對處左の如く課及係の改廢を行つた

庶務課

教務課

秘書係新設

社寺係庶務課

より編入

課長に庶務主任

關堺氏新任

勤業課

厚生課

勤業課より獨立

厚生課を改稱

の新構想

